



外は雨。狭い運動場では、廊下まではみ出して体操や運動を行う

毎日の生活に必要なことを勉強

前ページでも紹介しましたが、毎日の生活に必要なことを覚えてもらい、自分一人でもできるようになるための勉強も行っています。これを「生活指導」といっています。

洗面のできない子も

歯をみがき、顔を洗うことが中心です。朝夕、二回行い、歯ブラシにきちんと練り粉をつけ洗面器に水を入れ、顔全体を洗う……などを順序よく、きちんとできるように、毎日くり返して行っています。

食事

手づかみで食べる子。スプーンやはしをじょうずに使えず、こぼしながら食べる子。だれかに食べさせてもらわなければ一人で食べられない子など、さまざまです。

排せつ

大便秘や小便をしたくなったら便所へ行き、紙を使ってきちんと拭くことができるよう指導しています。

時間を決めて便所へ

最初は、便所へ行けず、すぐもらしてしまったり、所かまわず、ズボンをおろして排せつしそれを顔や手につけてしまう児童もいます。このような児童には、時間をきめて便所に入れま

着がえ

「ふなおか学園を助けて」は、いかがでしたか。ご意見、ご感想を企画部広報課までお聞かせください。引き続き十一月十五日までは今年オーブントラック精神障害者更生施設「ミニコロニー」の里」を紹介する予定です。



下級生の着替えを手伝う

「着がえ」は、最初は、便所へ行けず、すぐもらしてしまったり、所かまわず、ズボンをおろして排せつしそれを顔や手につけてしまう児童もいます。このような児童には、時間をきめて便所に入れま

時間をかけて根気よく

自分で服を脱いだり、着たりすることができるようになるために、いろいろなことをします。手や足が思うように動かないために服を着れない児童や、手足は動くけれども、服を着ることが理解できずに着れない児童



食べられない子には一対一で

卒園生はいま……

学園の卒園生は、就職している人、家庭で家事の手伝いをしている人、大人の施設（ミニコロニー）の里など）に入っている人など、さまざまです。市内に働く卒園生の一人を、紹介してみよう。



ふなおか学園指導員 土田紀久寿さん

最良の環境と最高のものを与えたい
園児には、一番良い環境と、最高のものを与えてあげたいですね。でも予算も限られ、苦労しています。子供たちがのびのび遊べる屋内運動場が欲しいですね。

市民談話室



国際障害者年に思う

ペーパープランに終らせたくない障害者年

岡田 功さん

福祉六法（生保・身障・老人・精神・母子・児童）法制化実施から三十数年経過した今日、見直しが論議され、大きな社会問題として、国民生活に不安感を与えています。しかし、現行制度の後退であってはなりません。戦後、国民は民族復興のためにむしやに働かされて、振り返って見て大変な犠牲を払ったことに気がつきました。美しさ山河は高度成長の名のもとに汚染され、薬品公害により国民はむしばまれ、交通機関産業の発展は、事故公害を生み出し、止まるどころを知らない。このまま推移するならば、一億総障害になりかねないと憂慮される現況下においては、他人ごとではありませぬ。

越し、健常者と障害者ともに今日の問題として、自分で何をなすべきかを考え、手を携えて行政に訴え、国際障害者年をペーパープランに終らせてはなりません。悲願達成まで、情熱のいかりを上げ、それぞれの分野で協力し、努力する心構えが必要ではないでしょうか。こんな言葉が好きです。「陰徳有陽報 一波生万波」

暮らしの見直し

部落内で返礼を廃止 何年間も守っています

関根喜八郎さん

今、人々に慶弔の贈り物とのお返し、病氣見舞や火事見舞とのお返しなどの簡素化の話をする時、ほとんどのみなさんは、それは良いことだから考えなければならぬと言います。私たちの地区では「冠婚葬祭簡素化運動の申し合わせ事項」を取り決め、ピラが各家庭の茶の間に貼られています。さて、

どれだけ実行されているかを見た場合、これほど各家庭にとって良いことなのに、なぜ互いに守れないのかと思います。この運動は、自分も良く守り受ける側からも理解と協力がなければなりません。申し合わせ事項は、部落内で取り決めると良く守られるようです。私たちの部落では、葬儀の場合、親戚を除く一般の人は、野菜料、お米料を廃止して、香典を千円。返礼、礼状は部落内は廃止しています。病氣見舞の返礼、内祝も部落内は廃止を取り決めて、何年も守っています。申し合わせ事項は、茶の間に貼るだけでなく、毎年一回は部落で話し合い、取り決めて、そのことを隣り部落に連絡し、協力をお願いすることが、大切なことだと思います。

納得の行くおつき合いを大切に

真保芳子さん

隣近所のおつき合いは、昔から「近い親戚より近くの他人」とも言われています。心と心のふれ合い、優しさ、思いやり、連帯感、こうした気持ちを持っておつき合いをしていくことが、

大切だと思います。たとえば、親戚や近所の家を新築された場合、その上棟式の喜びを心から祝福してあげる。病人のいる家庭には、病人の気持ちや看護のご苦労を察して、手伝うことがあったら手伝ってあげる。お見舞いのときは、お金を包みにして差し上げ、必要な品を買ってあげたり、必要な品を差し上げてあげたりから、大変喜ばれています。病気が全快されますと、内祝を配られますが、「自祝」で自分の祝いも他人とともに喜んでもらうという意味があるのだと解釈して、喜んでちょうだいしています。

私の健康法

阿部静江さん

昔から言われている言葉で、四十の手習いという言葉があります。女性は四十を過ぎると、

あのいやな更年期障害という言葉に気がつくようになります。薬を飲むようになります。下腹に脂肪がつき、神経過敏となり、興奮しやすく、記憶力を失いがちになります。それを乗り越えるには、女性として、主婦として、新たな希望を持って、精神の安定をはかることが大切だと思います。はと始めたのが、踊りでした。一人では何事も三日坊主になってしまうので、グループをつくり、週に一度、家族の理解を得て、先生に就き、練習に励んでいます。四十を過ぎると助や動きもにぶり、先生をやるもきさせています。でも、思いきり汗をかくことは、体や心の健康にとっても良いことだと思ひ体の続くかぎり続けていくつもりです。

体がストレスをためないことが、更年期障害の一番の薬だと思ひます。顔にベタベタお粉をぬっても、若返りはできません。表面だけでなく、心の中が健康であれば、自ら若さが出出てくるのではないのでしょうか。心の健康は、趣味を持つことと、自分に自信を持つことだと、私は思ひます。

来月以降のテーマ

国際障害者年に思う

一九八一年は国際障害者年。心身に障害をもつ人に対する理解と関心を深め、みんなが参加し、みんなが平等に暮らせるより良い社会づくりをしようとする年。「国際障害者年」にあたり、みんなで考えよう。

暮らしの見直し

冠婚葬祭や、慶弔の贈り物とのお返しなどの簡素化は、皆さんが良いことだと知りながらも、なかなかその実行が難しいようです。一部地域では実行しているところもあるとか。虚礼廃止にむけてのあなたの意見をお寄せください。

地域生活センターに期待

みんなでつくるコミュニティの拠点として、毎年一館ずつ地域生活センターを整備してきました。有効的な活用の方をみんなで考えてみましょう。

お年寄りに愛の手を

お年寄りとともに楽しく過ごす家庭や、今、生きがいを感じているお年寄りを紹介ください。また、あなたの老人福祉に対する考えもお聞かせください。

わが愛するまち・白根

私たちの住むまち白根市。山や海、森や草原など、変化の自然は、歴史のなにも浅いことから文化遺産もありません。でも、白根市にだってこんな素晴らしいものがあるぞ、と話すたふるさと自慢や、愛するがゆえにこんなまちづくりを望むなどの意見をお寄せください。